

将来の農業担い手を目指す



本市は県内有数の農業立市であり、また南の「食糧供給基地」としての役割を果たすため、生産基盤の拡充や安心・安全な農産物の安定供給などを、地域一体となり取り組んできました。

しかし、近年は担い手農家の減少による労働力不足、天候不順による作柄の不安定、それに伴う農産物価格の低迷、さらにはサツマイモ基腐病の発生・被害拡大など、農業を基幹産業とする本市にとっては厳しい状況が続いています。

そこで今回は、農業研修生の受け入れや後継者および担い手農家の育成を行っている南九州市顕娃農業開発研修センターの取り組みや将来の農業担い手を目指している研修生について紹介します。

農業開発研修センターの取り組み



南九州市頴娃農業開発研修センターは、基幹産業である農業を次世代へ引き継ぎ、農業に夢と誇りをもって携わり、またほかの産業なみの所得を確保することを目的に、平成11年度より施設の供用開始を行っております。

これまで多様な担い手の育成・確保のために多くの農業後継者や新規参入者などを研修生として受け入れ、現在では多くの研修卒業生が地域の担い手農家として活躍しています。

また、栽培技術体系などの確立や生産性や品質向上による安定生産・供給のために、秋冬野菜などの品種比較栽培実証やバイオ技術などの導入によるサツマイモの選抜品種の増殖推進にも取り組んでいます。



今年度のサツマイモ基腐病の発生抑制対策の取り組みについて

平成30年に初めて発生が確認されたサツマイモ基腐病は、年々その発生・被害面積が拡大してきており、昨年度は本市サツマイモ栽培面積約2100畝のうち9割以上に発生が確認されています。

本市は全国でも有数のサツマイモ生産地であることから、当センターでは、サツマイモ生産農家の経営維持および栽培面積の維持拡大を目的に、さまざまな取り組みを行っています。本年度、サツマイモバイオ苗の安定供給体制強化のため、ハウス新設および栽培ベンチなどの増設、サツマイモ基腐病発生軽減実証農地による検証も行っていきます。

※令和5年度に向けたサツマイモ苗床用バイオポット苗の注文も既に受け付け中です。サツマイモ苗の健全化による基腐病などの被害抑制対策として、ぜひご活用ください。



将来の農業担い手を目指し奮闘する研修生

頴娃農業開発研修センターでは、6月末現在3人の研修生が将来、地域の担い手農家になることを目指して、一生懸命野菜の肥培管理技術など農業基礎知識の習得に励んでいます。

3人の将来の経営品目はトマト、深ネギ、カボチャ、オクラ、スナックエンドウなどさまざまですが、若い農業従事者が減少している本市にとって大変心強く、期待しているところです。大きな夢と誇りをもって、将来は競争力のある農業経営者になってほしいと思います。

今回は研修生の一人である伊藤香織さんにお話を伺いました。



研修生 伊藤 香織さん



私は、平成30年10月からハウストマト栽培農家においてアルバイトをしながら、トマト・タマネギ・オクラなどの栽培管理の手伝いをしていました。そして、毎日のようにトマトなどに触れていくことにより、作物を育てることの楽しさや奥深さにだんだんと惹かれていきました。農業は作物を育てるだけではなく、周囲の人達とのつながりがとても大事であり、いろいろな先輩方に教わりながら学ぶ楽しさがあると感じました。

私が頼む農業開発研修センターに入ったきっかけは、もともとトマト栽培に関する技術を習得したかったことと、ほかの作物の栽培技術や肥料・農薬・土づくりなどの知識を身に付けたいと思ったからです。

これまで研修センターでは、カボチャやスイートコーン・深ネギの栽培や収穫、サツマイモ苗の植え付け、サツマイモバイオ苗の増殖、農

薬散布、トラクターの運転操作、各種農業用機械の取り扱いなどに取り組みながら、肥料農薬や経営管理などに関する講義も受講しています。そして8月にはハウストマトの定植を予定しており、現在それに向けて農地の準備などにも取り組んでいます。

初めて体験する農作業や初めて耳にする用語も多く悪戦苦闘の毎日ですが、研修で学んだ知識と経験をもとに、将来はミニトマトやアイコトマトを中心とした農業経営を構築し、活躍できるように頑張りたいと思います。



研修生の募集について

将来の担い手育成・確保のために、研修生を募集します。

農業後継者や新規参入者を優れた農業者として養成することにより、本市の農業振興を図ることを目的としています。

■短期研修

- 対象者 市内農業後継者
- 研修品目 野菜
- 研修期間 毎年4月1日または10月1日から1年間

■長期研修

- 対象者 新規就農希望者
- 研修品目 野菜
- 研修期間 毎年4月1日または10月1日から2年間

■品目別研修

- 対象者 市内農業者
- 研修品目 秋冬野菜全般
- 研修期間 毎年8月1日から6カ月間(随時受け入れ)

※その他の研修品目については、ご相談ください。

※研修経費は原則無料ですが、必要に応じて一部負担があります。

※研修生の資格としては、義務教育を修了した者で、農業で自立しようとする意欲がある原則50歳未満の健康な男女。

【問】 農政課 総合研修係

(頼む農業開発研修センター内)

TEL 0993-3812881

FAX 0993-3812882